

血液内科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	慢性播種性血管内凝固症候群患者における第 XIII 因子活性の測定
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(所属) 輸血部 (職名) 教授 (氏名) 中山享之
研究の対象となる方	2017 年 3 月から研究実施承認日までに慢性播種性血管内凝固症候群と診断された患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2024 年 12 月 31 日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 慢性播種性血管内凝固症候群患者さんは、出血傾向や創傷治癒遅延をきたすことが多いとされていますが、その機序は不明です。そこで我々は、止血や創傷治癒に関する第 XIII 因子活性が低下しているのではないかと仮説を立てました。実際に、慢性播種性血管内凝固症候群患者さんにおける第 XIII 因子活性を検証し、治療に役立てたいと考えています。 〔利用方法〕 慢性播種性血管内凝固症候群を合併している患者さんのうち、凝固第 XIII 因子活性を測定している方のカルテ情報を参照して、どれくらいの割合で凝固第 XIII 因子活性が低下しているか検証します。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録(カルテ)から、年齢、性別、既往歴、血液検査結果、基礎疾患等を収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2024 年 11 月 30 日までに外来窓口での受付、電話等) により下記問い合わせ先まで申し出て

場合	ください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 輸血部 担当者：(職名) 教授 (氏名) 中山享之 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 36212)